

肺ガン検診の実施、 小学校3年生までの医療費助成 など提案される —6月定例市議会

大津市議会6月定例会が6月1日開会されました。緊急雇用創出事業の追加を盛り込んだ補正予算案など19議案が提案され、18日までの日程で審議がおこなわれます。

8日から10日までの質疑一般質問では、日本共産党市議会議員団は全議員が発言、市民生活を応援する市政をめざして論戦をおこないます。傍聴いただくとともに、市政や議会へのご意見などをぜひお寄せください。



市民の健康を守る支援制度が充実

今議会では、遅れていた滋賀県下の自治体での肺ガン検診が10月から実施されることになり、胸部X線検査が5000円、喀痰検査が10000円で受診できるようになります。

また、要望が強かった小学生の医療費補助制度が来年1月から始まり、自己負担は通院が一日10000円となり、入院が一日10000円となくなります。共産党市議会議員団は、引き続き義務教育期間の医療費助成制度拡充へ向けて政策提案をおこなっていきます。

市民の参政権に関わる議員定数の削減を提案

4月に市長が突如言い始めた市議会議員の定数を40から36に削減する議案も6月議会に提案されています。

たとえば、この間市長は合併特例債を使って庁舎を浜大津に建設すると言い、建設のための検討委員会も作りましたが、

共産党市議会議員団は他都市の事例を調査・研究、「庁舎建設よりも学校の耐震補強」を提案。議会で議論などが市長の独断専行を押し、小中学校の耐震改修がすすみ、庁舎は応急の耐震補強で対応することになりました。

たしかに市長からすれば、思い通りに事が進まないのは「効率的」ではないのかもしれませんが、しかし、今回の定数削減は、チェックを受ける側がチェックをする議会の力を弱めようとするものです。市民にとっては参政権を削り取られるものではないでしょうか。

高校統廃合中止などの請願採択へ全力

6月議会には、県政で問題になっている県立高校の統廃合中止を求める請願書や子宮頸ガンワクチン接種の補助を求める請願書などが出されています。

大津の子どもが大津の高校へ通えるように「県立高校の統廃合は子どもたちの将来の問題です。共産党市議会議員団は皆さんの願いが通るよう徹底審議で請願の採択をめざしてがんばります。委員会などの傍聴にもお越しください。

6月議会が はじまりました！

6月議会日程

- 1(火) 開会 請願締め切り
- 8(火) 質疑・一般質問
- 10(木) 質疑・一般質問(予備日)
- 11(金) 常任委員会
- 14(月) 常任委員会(予備日)
- 15(火) 特別委員会
- 16(水) 閉会
- 18(金)

議員団の主な質問項目

- 木 指定管理者、市営葬儀事業
- 佐々木 介護保険、地デジ
- 浦 国民健康保険
- 本 ガス企業会計、公衆用道路
- 石 公共交通、大津駅前の喫煙所
- 岸 ごみ有料化、学校給食

埋立量6割減、CO2排出量半減 名古屋市では…

—市議団が視察

ごみ減量の先進都市、名古屋に、杉浦・岸本市議が視察に行きました。

名古屋市では、ごみ埋立地新設計画の断念をきっかけに、平成11年「ごみ非常事態宣言」を出し、市民に負担を押しつける有料化ではなく、行政は市民が力を発揮しやす

い環境を整え、とくに資源回収・分別を徹底。市民・事業者・行政と三者協働の取り組みの結果、10年で埋立量6割減、CO2排出量を半減させる成果をあげています。



名古屋市の
ごみパンフレット

「ごみ問題」市民の会発足

5月25日、「ごみ問題を考える市民の会準備会」開かれ、日本共産党大津市議会議員団も参加しました。

大津市のごみ有料化は、「財政難」を理由とした市民への負担増です。会場からは「有料化の言い訳に「ごみ減量を言っている」などの意見が出されました。

7月1日から「ごみ有料化について市のホームページで市民意見の募集(パブリックコメント)」が行われます。

ごみ問題速報